

高松塚古墳壁画及びキトラ古墳壁画の材料調査について

古墳壁画 P T 材料調査班

○高松塚古墳壁画

- 1) 適宜、可視分光分析、蛍光分光分析、THz 波イメージングおよびデジタルスキャニングを実施する。



THz 波イメージングの調査風景



デジタルスキャニングの調査風景

- 2) これまでに得られている高松塚古墳壁画の蛍光 X 線分析データを公開・活用するため、出版物としての編集を進める。

○キトラ古墳壁画

- 1) 分析用治具を用いて、可視分光分析、蛍光分光分析および蛍光 X 線分析を適宜、実施する。
- 2) キトラ古墳壁画の定期的な点検法を確立するため、色情報の定期計測法ならびに三次元計測法を簡便性、精度、経済性等の観点から検討する。
- 3) キトラ古墳壁画の泥の下に図像が存在するかどうかを確認するため、実験試料に対して X 線透過撮影試験の実験を行なう。透過撮影試験の条件が整い次第、仮設修理施設に別置してある漆喰片に対して調査を開始する。

○古墳壁画用 X 線回折装置の開発

現在、開発中の装置を用いて計測実験を継続し、実用化を図る。